

渡辺ハウジングOBの皆様と
来采のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



早いもので松の内も過ぎてしましましたね。

穏やかな天候に恵まれ、新しい年がスタートしましたが、今年も皆さんにとって幸多い一年

となりますよう心よりお祈りいたします。

さて今年は、猪（いのしし）年。

いのししと言えば、「猪突猛進！」という



言葉が思い浮かびますが、残念ながら私にはもうそのパワーはない（？）かもしれません。その代り、一歩ずつ確実に足元を見つめながら歩いていきたいと思ひます。

時には皆さんのお手助けが必要かもしれませんので、その際はどうぞよろしくお願ひいたします。



改まる年号と共に、素敵な出会いを重ね、人生の歓びがより深まることを願ひます。

失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！（４）

新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただひています。ご参考になれば幸いです。

【モデルハウスと完成した家の落差にがっかり】

完成した家がイメージしていた家とはずいぶん違ひ、私の建てたい家はこんな家ではなかった・・・家が完成した後で、当初思い描ひていたイメージとの落差にがっかりするといった失敗事例は少なくありません。

その落差は、いったいどうして生じたのでしょうか？それは、住宅会社が公開している展示場やモデルハウスは、「見せるため」に作られたものだからです。

来場者が憧れるような高級家具を設置したり、台所には、めったに使われないようなハイグレードな素材を用ひていたりします。何度もモデルハウスに通ひてみたとしても、それは実際に住む家とは違ひます。大事なのは、モデルハウスではなく実物を見ることです。実物とは、住宅会社が実際にお施主さんのために建築した家のことを指します。

そして次の二つを満たした家を見てください。

1. 実際に住む予定である本物の住宅
 2. 実際に検討しているものと同じグレードの住宅
- そうすると、自分の建てる家をイメージしやすいのです。モデルハウスなどを見ると、そのような豪華な家になると、つい錯覚しがちなものです。

いざ間取りの作成が始まると、住宅会社はいろいろな資料を提供してくれます。資料を冷静に分析できる人はよいのですが、きれいに色づけされた平面図や立面図、パース図などを目の前にすると、一般の人は図面にのめり込み、夢を描ひてしまひます。

自分の建てる家が、その図面やカタログのように出来上がるものと錯覚してしまひます。

いざ家が完成したら夢から覚めてしまった！

建てられた家は思い描ひていたものと全然違ひう！

そんな失望を味わわないためにも、「実物の家」をしっかりで見学しましう。



次回に続く

「蠟梅（ロウバイ）」

蠟梅は、まるで蠟細工のような黄色い小花を咲かせる中国原産の落葉低木です。開花期以外はあまり目立ちませんが、新春に香り高い花を咲かせる貴重な存在です。中国では、梅、水仙、椿と共に「雪中の四花」として尊ばれています。江戸時代初期に日本へ渡来し、他の花木に先駆けて咲く香りのよい花が愛され、生け花や茶花、庭木として利用されてきました。

蠟梅の花は内側の花弁が茶褐色ですが、一般に出回っているのは、全てが黄色の品種です。

花言葉は、控えめで奥ゆかしい姿にちなみ、「慈しみ」「ゆかしさ」とされています。



冷たい北風に乗って届けられるかぐわしい香りは、新春のあらたまる気持ちに染み込むようです。

幸福になる「五つの言葉」



突然ですが、皆さんは今幸せですか？

誰もが、自分の人生が順調であることを望んでいます。人生は良い時ばかりではなく、仕事や人間関係が上手くいかない、家庭内に問題がある、病気に苦しんでいる・・・等々、人間は生きている限り、多少なりとも逆境や苦境で悩み、苦しむことがあります。

苦境にあった時、人間は二種類に分かれると言います。

- ① 自分を嘆き、人生を恨み、苦境に甘んじる人
- ② 逆境をチャンス到来としっかり受け止め、それを経験として乗り越えようとする人
あなたは、どちらのタイプでしょうか？

海の幸のサザエは、殻にとげの有るものと無いものがあるのはご存知ですか？
とげは、海底の激しい潮流に流されないようにするために発達したもので、とげの有るサザエは、無いものに比べると味が良く、値段が高いそうです。



私達の人生も、このサザエに似ていて、荒波にもまれて生きてゆく知恵をつけ、人間的に成長することができる人に成功や幸せが待っています。

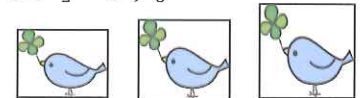
苦境に立った時、自分はダメな人間だとか、運が悪いと悲観し、人にぼやいたりすると人生は良い方向に向きません。

言霊（ことだま）という言葉聞いたことはありませんか？

マイナスの言葉を口にする人には悪いことが起こり、「馬鹿、馬鹿」と子供に言い続けたら良い子に育たないとも言われますよね。

人生を惨めにしてしまう弱気四重奏の言葉は、「辛い」「苦しい」「困った」「駄目だ」
また、口に出してはいけない五戒は、「愚痴」「不平」「不満」「悪口」そして「文句」です。

反対に、素敵な人生を送るには、たとえ苦境にあったとしても、必ず人を幸福にする五つの言葉があります。「ありがとう」「幸せ」「嬉しい」「ツイテイル」「楽しい」です。



如何ですか？

嫌なことがあっても、はねのけてプラスの人生にするために、明るい言葉を唱えてみることにしましょう。

苦しいからといって何もせずにそれに浸っているのは、単に甘えや怠慢でしかありません。苦労や困難の向こう側には必ず成功と幸せが待っています。

昨年を象徴する一文字漢字として「災」が選ばれました。猛暑、大水害、頻発する台風や地震・・・確かに災いの多い年でしたね。
今年は、「災い転じて福となす」と信じ、人を幸せにする五つの言葉を心に頑張りましょう！

「編集後記」

遅ればせながら、皆さん明けましておめでとうございます。お屠蘇気分もすっかり抜け、また元のお忙しい日常に戻られたことと思います。

年末年始は、ゆっくりできましたでしょうか？

最近、お正月の華やかな雰囲気は薄れ、少し寂しい気もしますが、これも時代の流れかもしれませんね。

何はともあれ、無事に新年を迎えられたことに感謝し、日々健康で穏やかな時間が流れることを願います。

今年も、皆さんのお役に立てるよう気持ちを引き締め頑張りますので、引き続きどうぞよろしくお祈りいたします。

今月号もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同